



身近な自然を通して ～豊かな感性を育む環境づくり～



お庭で遊んでいると、小さな生き物たちに出会います。手に虫をのせ、喜んで保育者や友だちに感動を伝える姿が見られます。また、草花や木々に目を注ぎ、様々な発見をしている子どもたちです。



身近な自然を通して、より豊かな感性が育まれるように…



現在、幼稚園では、春～夏にかけて育つ植物や野菜を子どもたちと育てています。毎日お水をあげ、生育する過程を観察しています。また、季節の草花や、触れると面白い草花、今後遊びに取り入れられるお花などを植え、園庭の自然環境を整えています。

室内では、捕まえた生き物を飼育することを通して、子どもたちの好奇心や興味はかき立てられています。こうした、身近な自然に触れる経験により、“命を大切にする心”“優しく思いやる心”が芽生え、育っていくよう、研究していきます！

《幼稚園のお庭で育てている野菜や草花》



《幼稚園で会う小さな生き物たち～観察をたのしんでいます～》



おたまじゃくし 足がはえて…



ついにカエルになりました！



カエルのお部屋を作って観察中♪



だんごむし が 殻をぬいだよ！



かたつむりが卵を産んだよ



クワガタ



十三アゲハ



幼虫から、さなぎになって… 何日も眠ると、きれいな蝶に！
虫の変態（※姿を変えていく様子のこと）していく過程を毎日
じっくりと楽しみました。

